



2009年度 第2四半期決算説明資料

株式会社 森精機製作所
2009年10月27日

将来予測について

当資料には、当社の目標、計画などの将来に関する記述が含まれております。これらの将来に関する記述は、当社が現在入手している情報に基づく判断および仮定に基づいております。今後の経営方針転換、外部要因の変化により、将来的に実際の業績と大きく異なる可能性があります。

なお、不確定性および変動可能性を有する要素は多数あり、以下のようなものが含まれます。

為替相場の変動

当社が営業活動を行っている市場内における法律、規制及び政府政策の変更

タイムリーに新商品を開発し、市場に受け入れられるようにする当社の能力

当社が営業活動を行っている市場内における政治的な不安定さ

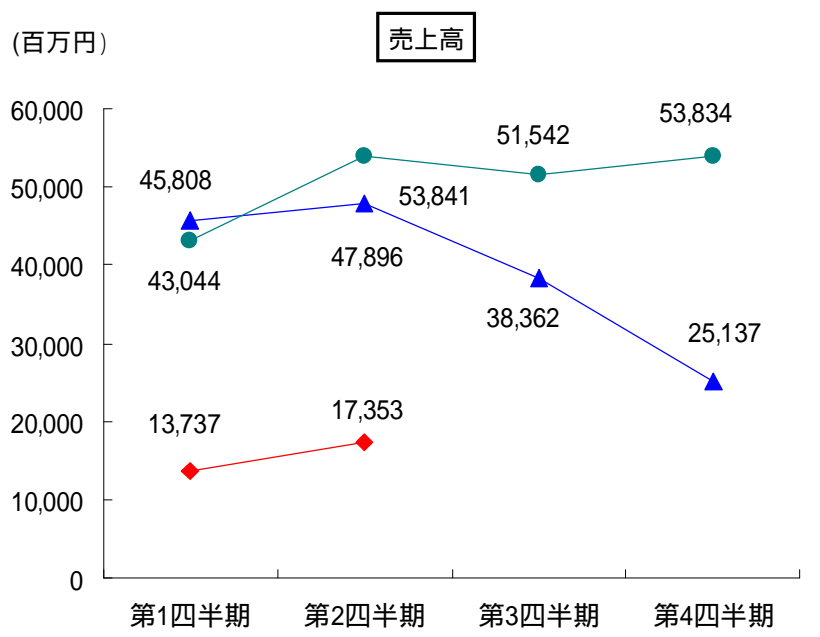
- ・売上は311億円(前年比67%減)、営業利益は-147億円
- ・10月2日発表の修正予想通りの着地(予想売上310億円、営業利益-150億円)

	2008年度 第2四半期	2009年度 第2四半期				2009年度 通期
		実績	増減	対前年比		
(百万円)	実績	実績	増減	対前年比		予想
売上高	93,704	31,090	-62,614	-67	%	65,000
営業利益	9,881	-14,656	-24,537	-	%	-28,000
(売上高比率)	10.5%	-				
経常利益	8,759	-14,885	-23,644	-	%	-28,000
(売上高比率)	9.3%	-				
四半期純利益	4,478	-15,744	-20,222	-	%	-28,700
(換算レ - ト 1US\$=)	(106.3)	(95.5)				(92.8)
(1€=)	(162.1)	(133.1)				(131.6)

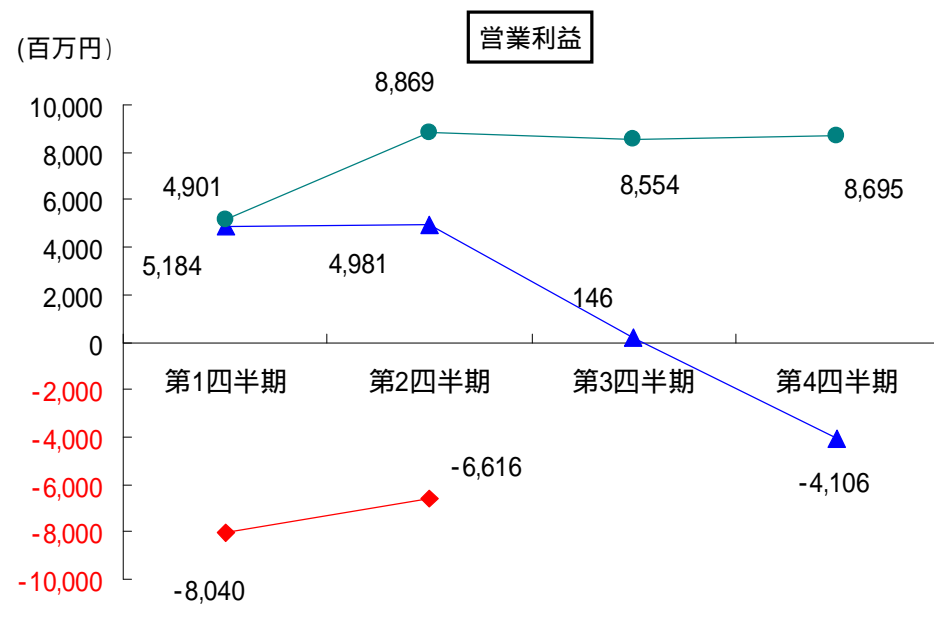
為替予想: 2009年下期の前提 US\$ = 90.0 € = 130.0

売上・営業利益 四半期推移

・第2Q売上高は第1Q比26.3%増加の173億円、営業利益は-66億円



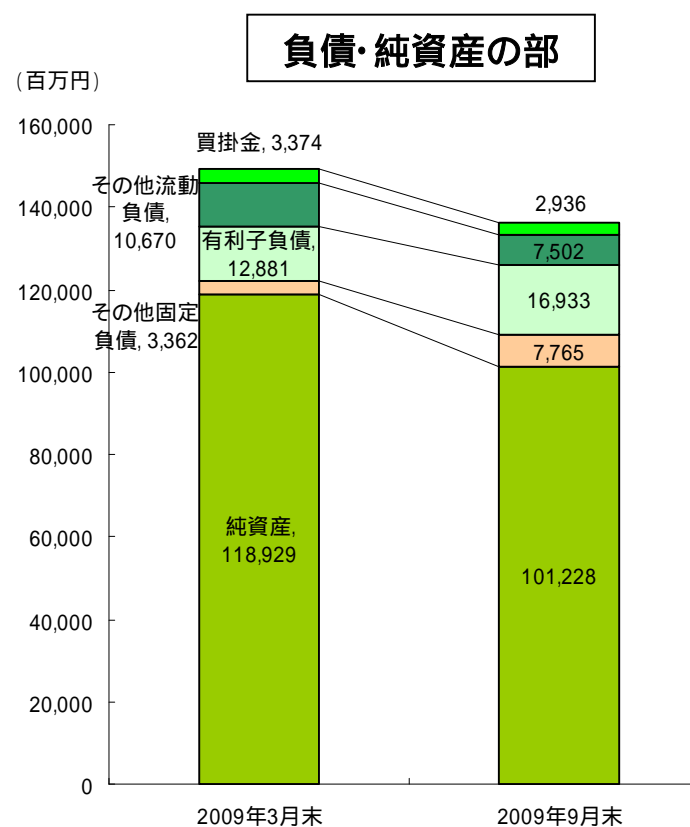
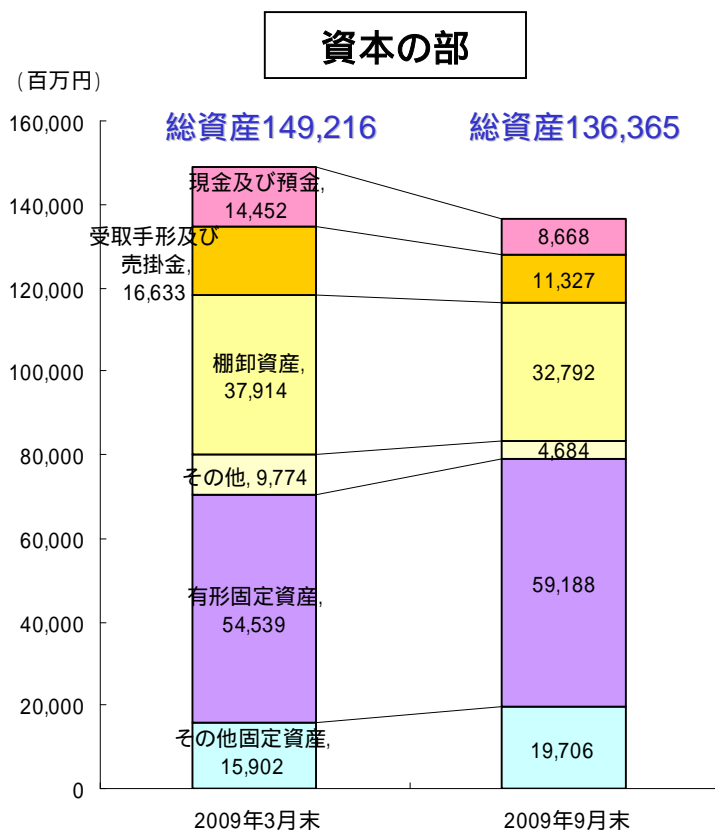
◆ 2009年度売上高 ▲ 2008年度売上高 ● 2007年度売上高



◆ 2009年度営業利益 ▲ 2008年度営業利益 ● 2007年度営業利益

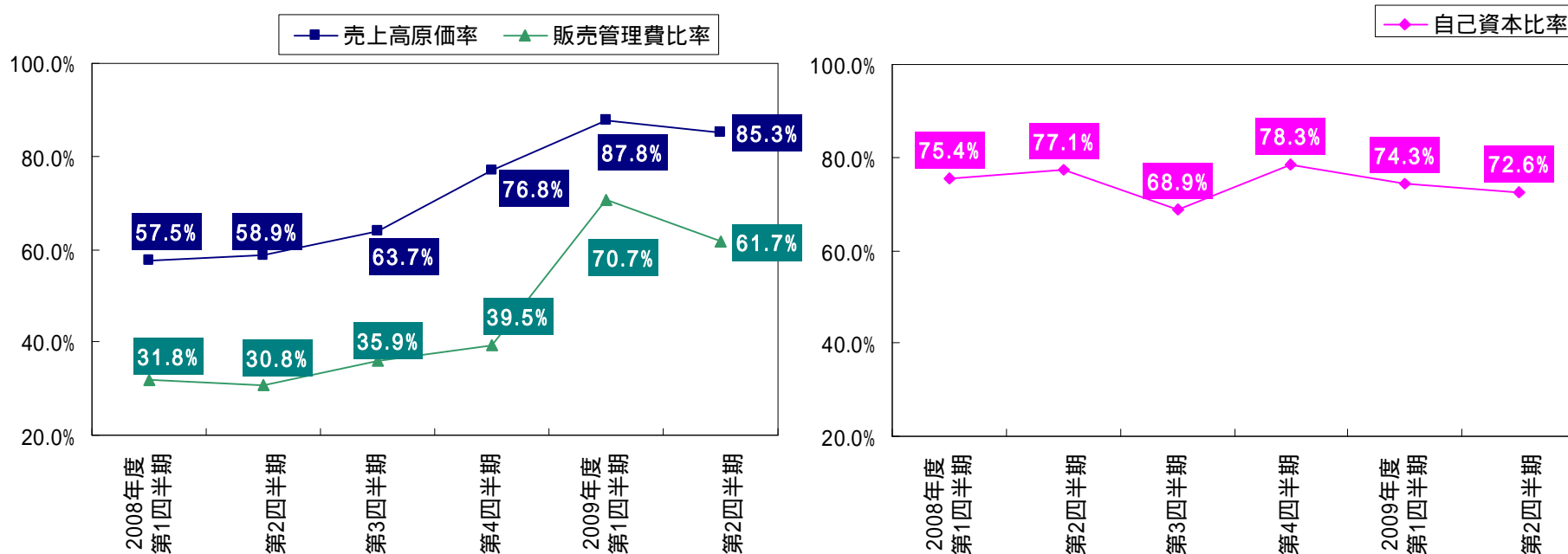
連結ベース

・在庫調整は計画通りに進捗し、棚卸資産を圧縮



原価率・販管費率・自己資本比率推移

- ・固定費の削減は引き続き計画通りに進捗し、原価率、販管費率とも若干改善
- ・自己資本比率は72.6%と、高いレベルを維持



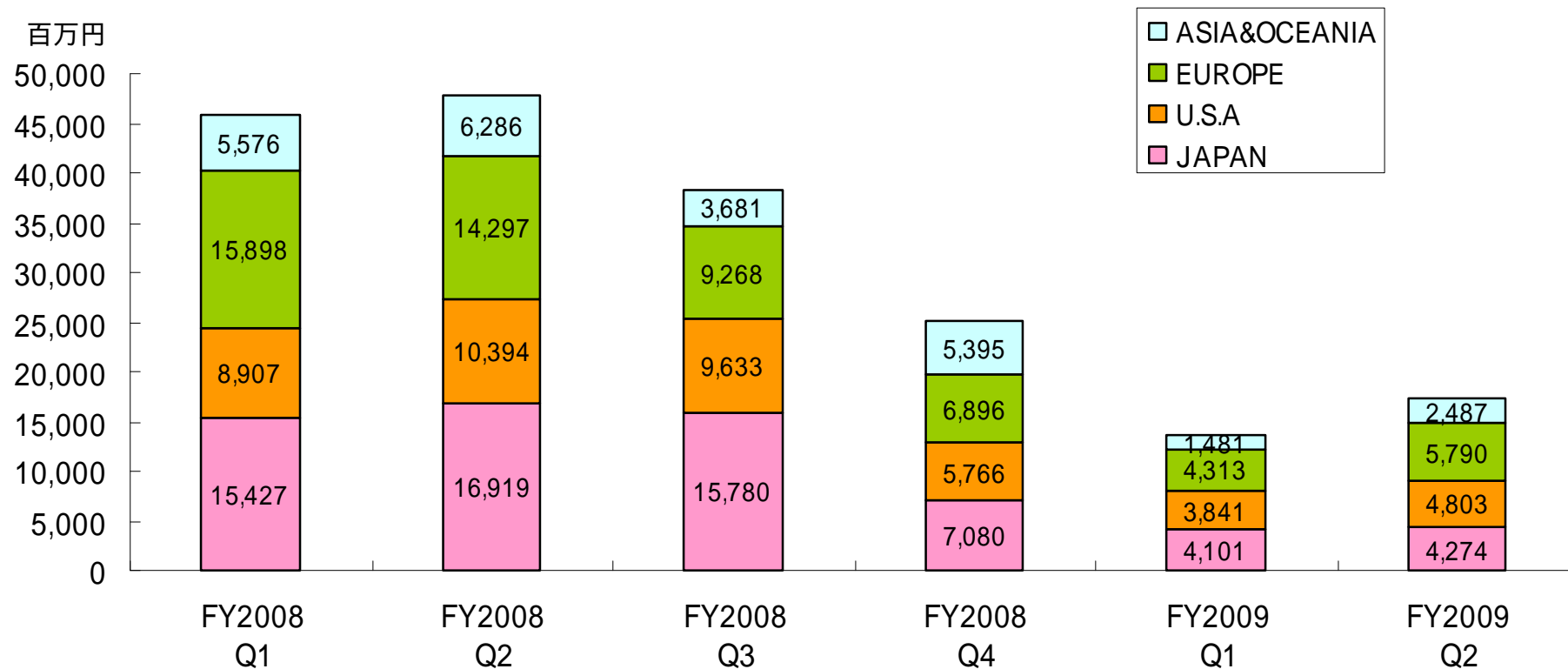
- ・第1Q比では、全ての回転期間が改善
- ・在庫プロモーションにより、棚卸資産のキャッシュ回収は着実に進む

	2008年度 第2四半期	2009年度 第1四半期	2009年度 第2四半期	第1Q比増減
売上債権回転期間	1.97	2.25	2.19	-0.06 ヶ月
棚卸資産回転期間	2.87	8.01	6.33	-1.68 ヶ月
仕入債務回転期間	0.67	0.66	0.57	-0.09 ヶ月
固定資産回転期間(有形)	3.55	12.48	11.42	-1.06 ヶ月
借入金回転期間(含む社債)	0.33	3.39	3.27	-0.12 ヶ月



地域別売上高推移

- ・四半期売上は、全地域とも2009年度第1Qが底
- ・アジアを中心に、売上が回復傾向 中国が牽引役

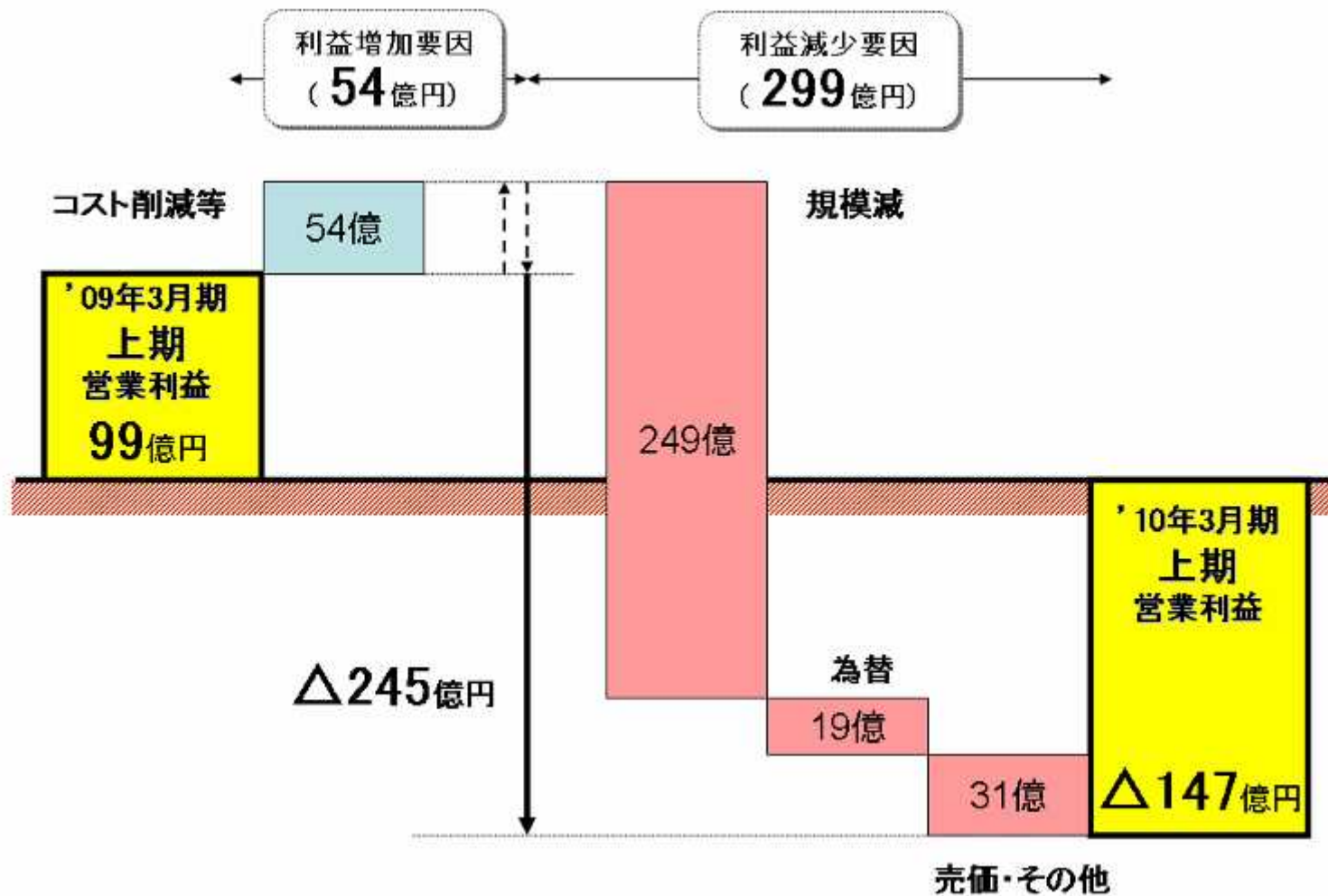


キャッシュフロー計算書(連結)

(単位:百万円)	2008年度 第1四半期	2008年度 第2四半期	2008年度 第3四半期	2008年度 通期	2009年度 第1四半期	2009年度 第2四半期
営業活動によるCF	455	2,728	2,938	8,564	1,343	53
投資活動によるCF	-2,579	-5,230	-7,485	-11,424	-4,992	-7,996
財務活動によるCF	-1,982	-3,771	15,857	-507	550	1,583
現金および同等物の増減額	-3,850	-6,482	10,073	-4,075	-2,981	-6,420
現金および同等物の期首残高	17,916	17,916	17,916	17,916	14,255	14,255
現金および同等物の期末残高	14,426	11,795	28,350	14,255	11,731	8,292

利益増減分析

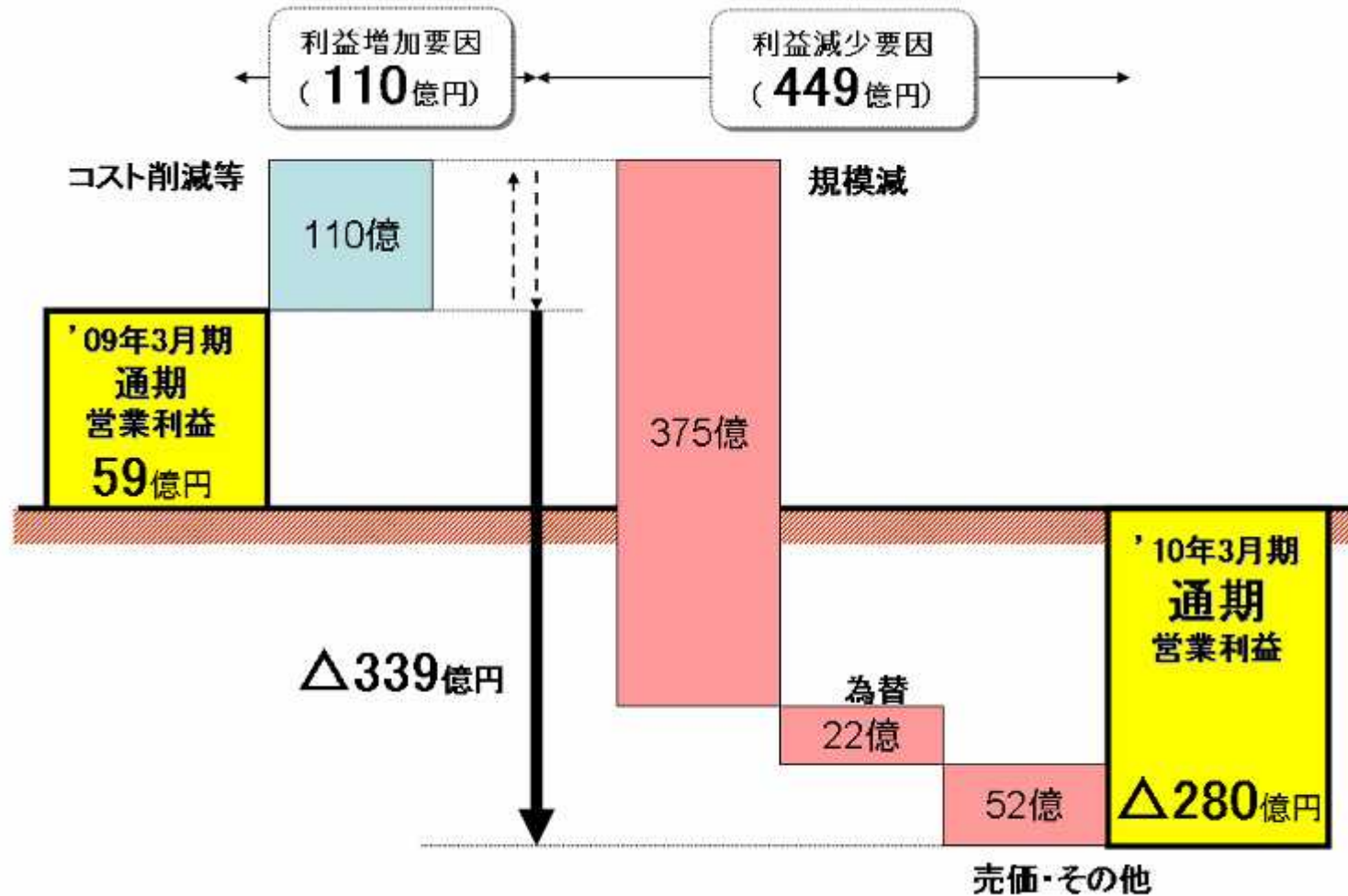
【2008年度 上期 vs 2009年度 上期】





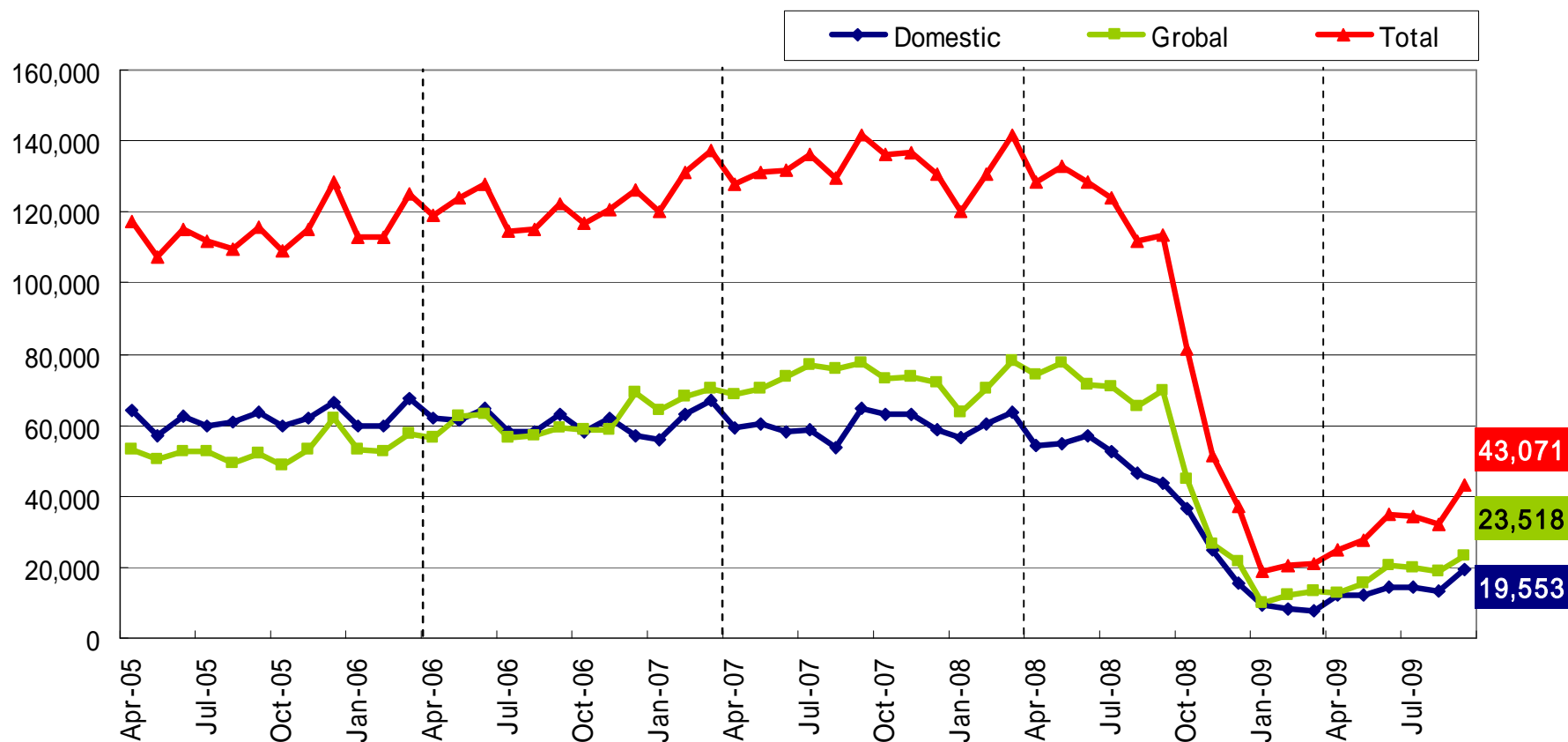
利益増減分析

【2008年度 通期 vs 2009年度 通期予想】



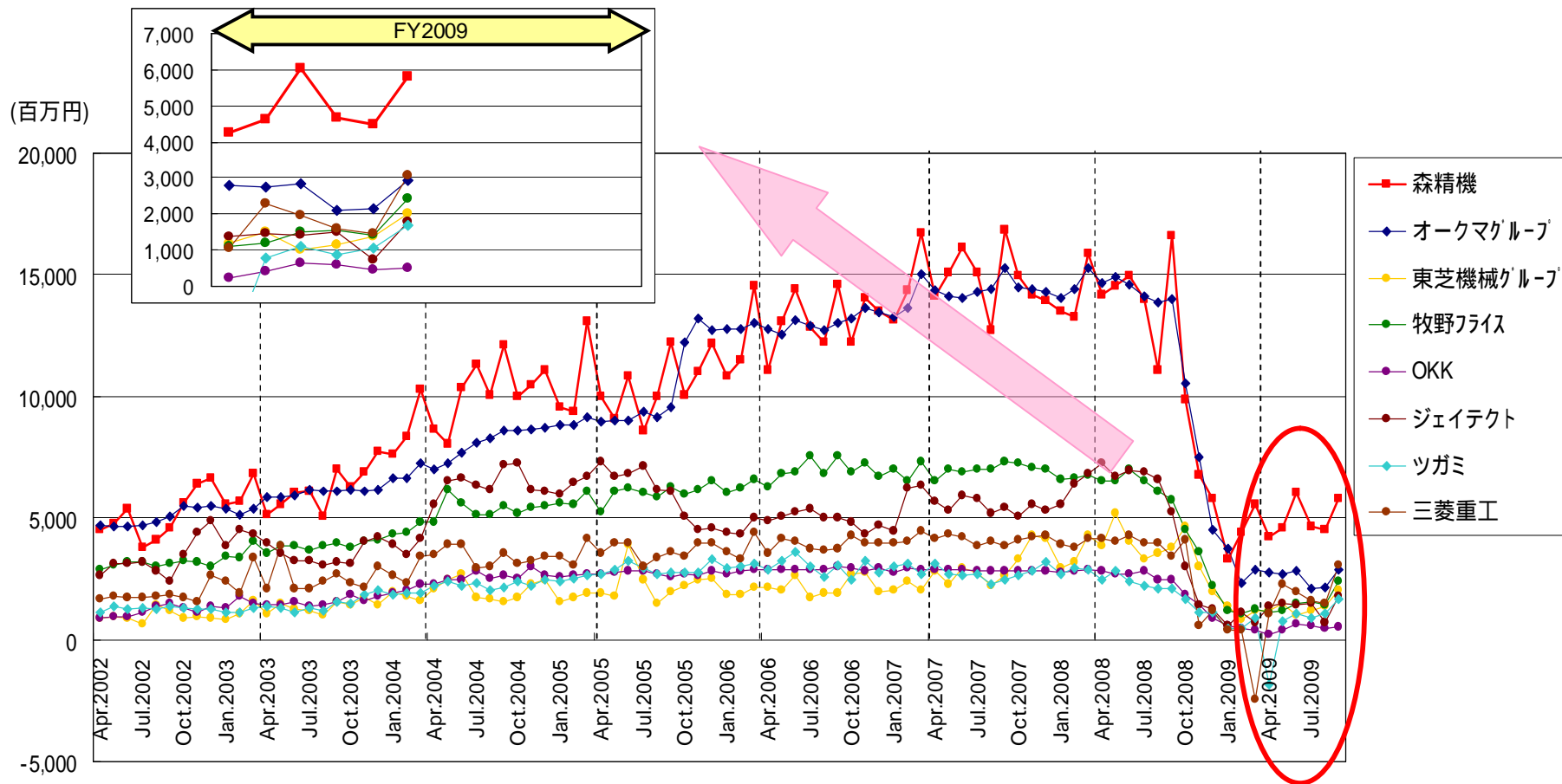
需要環境 日工会月次受注推移

・日工会2009年4月～9月の受注実績は、1,969億円(前年同期比73.3%減)と大幅減
 ・一方で、月次受注は2009年1月(190億円)を底に、緩やかに回復(9月431億円)

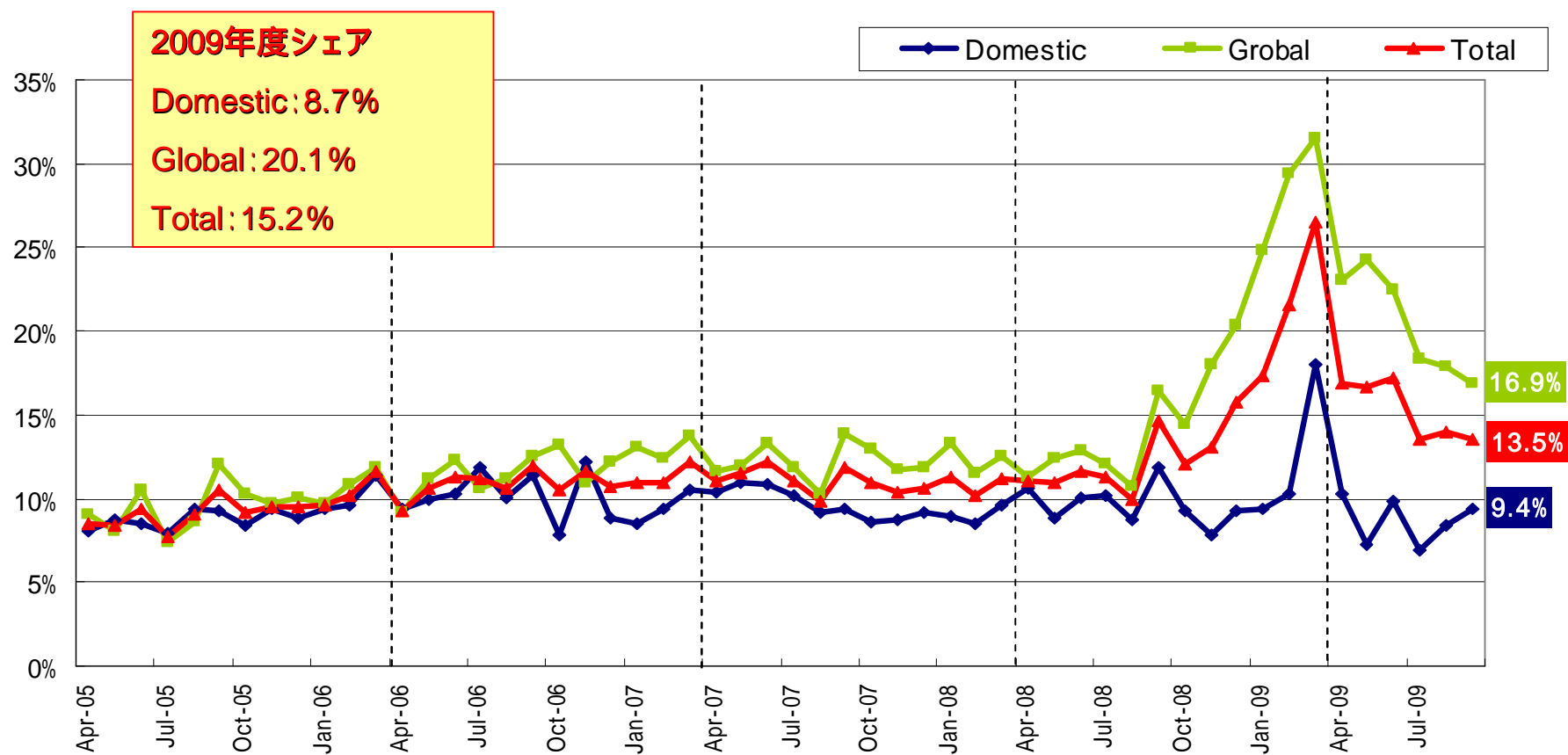


工作機械主要8社月次受注推移

- ・他社比では高い受注額を獲得
- ・日工会における当社シェアも上昇傾向



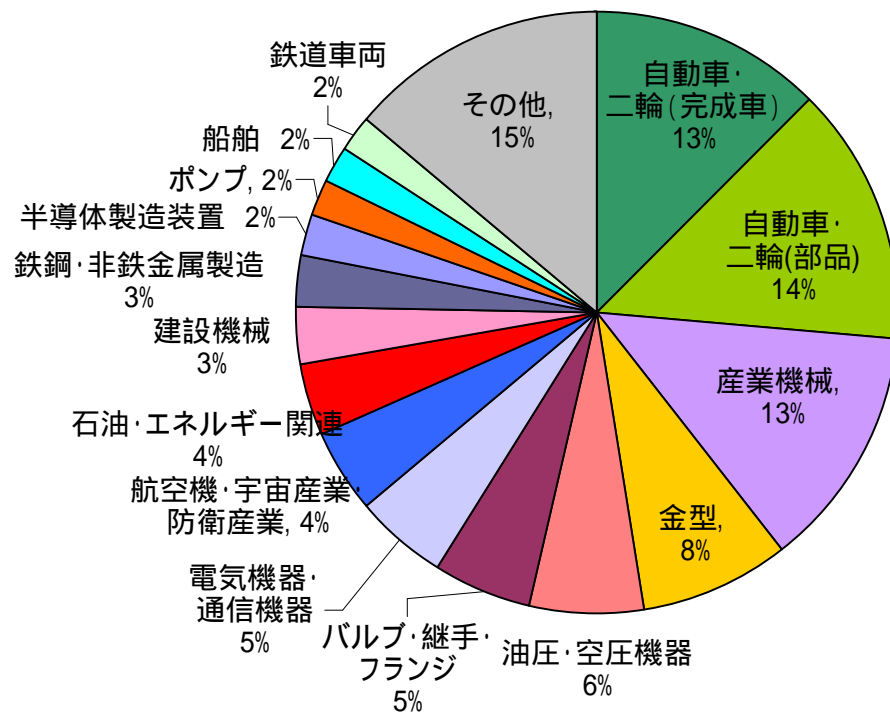
- ・2009年4-9月のシェアは15.2%を獲得
- ・特に海外でのシェアがUP



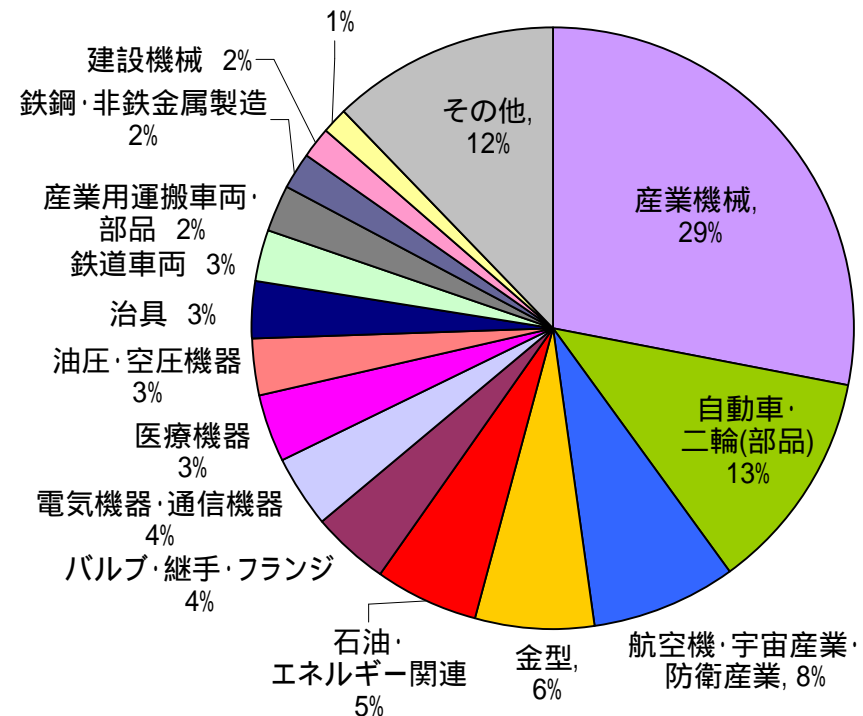
2009年度上期 受注分析(業種別)

金額ベース

【国内】



【海外】

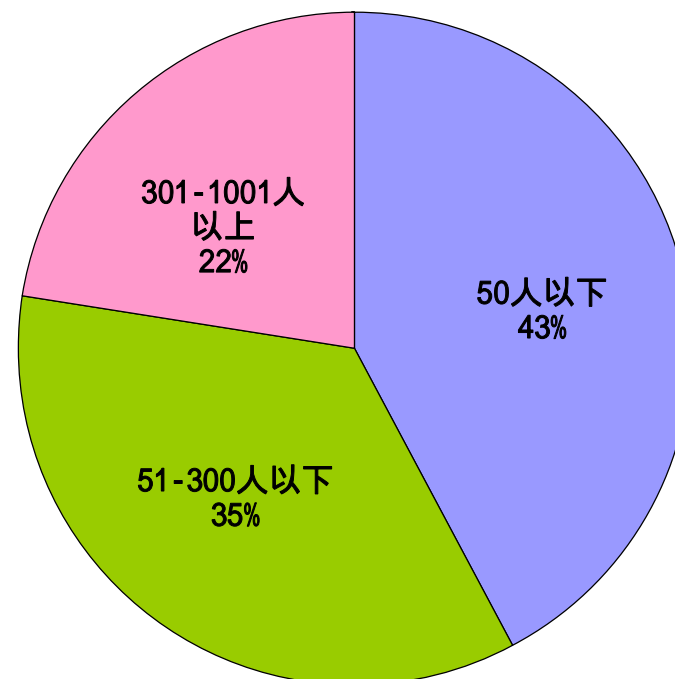
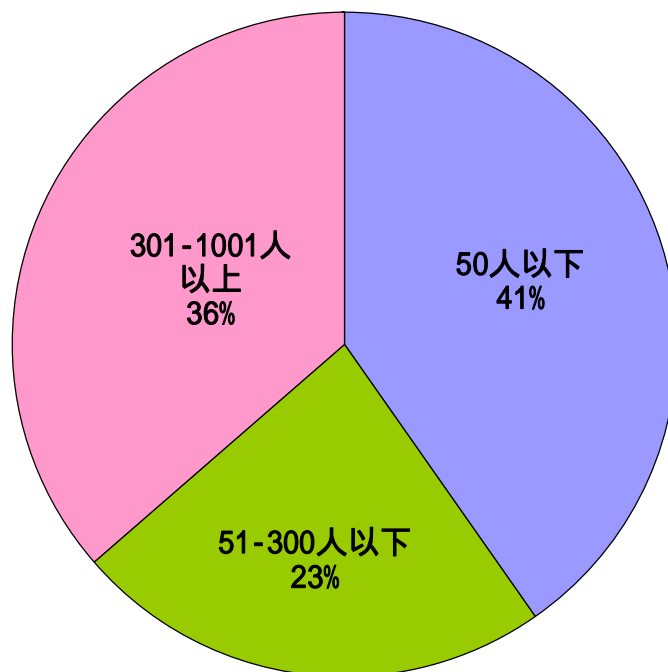


2009年度上期 受注分析(顧客規模別)

金額ベース

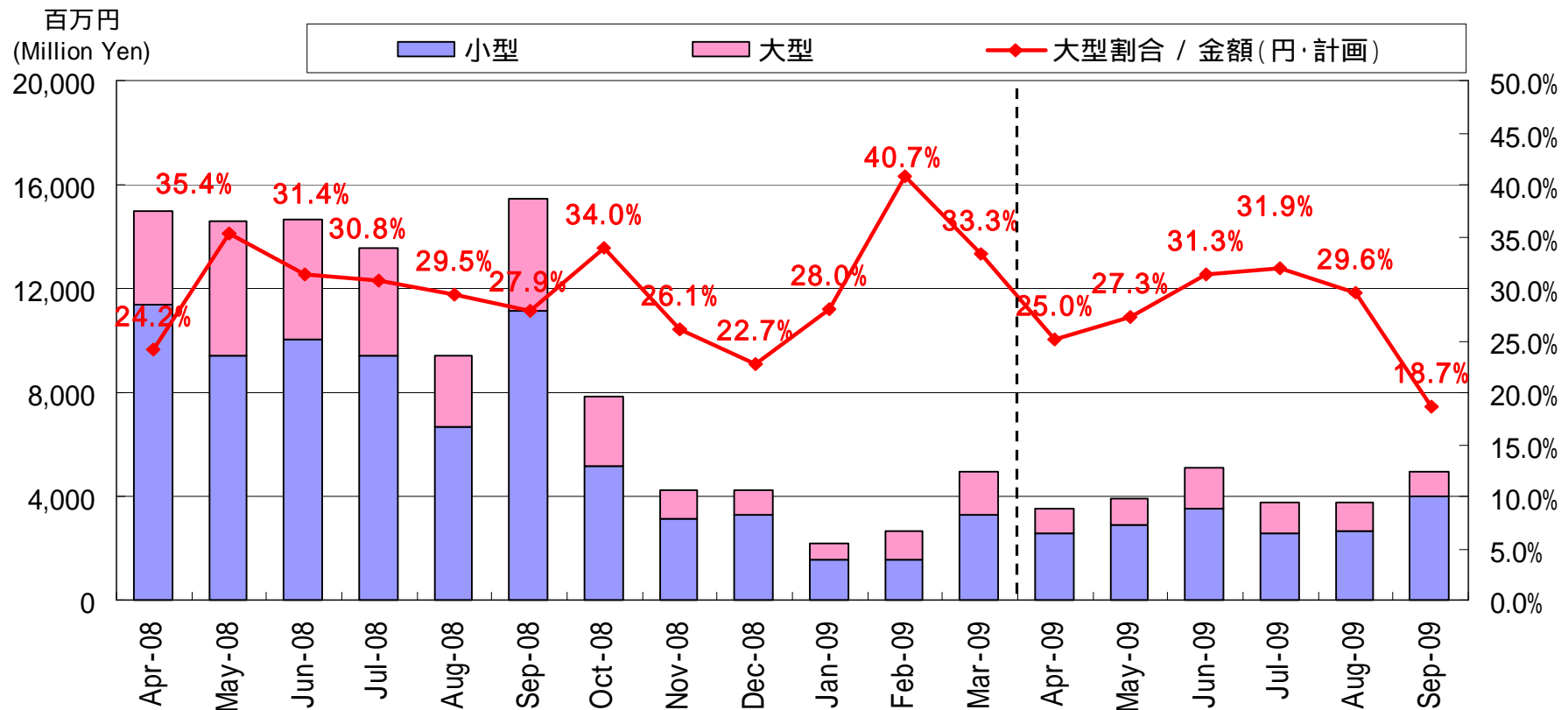
【国内】

【海外】



受注分析(大型機割合)

- ・大型機割合は低下傾向
- ・厳しい環境下では、小型機に需要が傾く



旋盤:チャック12inch以上、立MCY軸ストローク600mm以上、横MC:パレットサイズ630mm角以上を大型と定義
 金額ベース(計画レート) 当社社内計画レート:\$=107円、ユーロ=128円で計算



展示会実績・予定

・EMO MILANO 2009 10月5日～10日<ミラノ>



・受注状況累計	:	48件48台
(内DMG機	:	5台)
・引合状況累計	:	455件
・ブース来場者累計数	:	1,500社 1,859名

・MECT 2009 10月14日～17日<ポートメッセなごや>

・受注状況累計	:	22件 31台
(うちDMG機	:	5台)
・引合状況累計	:	523件 677台
・ブース来場者累計数	:	3,250名



両展示会共に、受注目標達成！

・初冬プロダクティビティショー 11月11日～14日 <森精機製作所 伊賀事業所>

新機種開発計画

FY2009は、すでに5機種の新機種を発表
 下半期も5軸立形マシニングセンタ、大型旋盤など6機種を発売予定
 小型から大型機まで、全機種・全産業対応
 FY2010も引き続き10機種前後の新機種を発売予定

FY2009発表済み新機種

機種 Machine Model	量産開始月 Mass Production
VL553	2009/04
NMV3000DCG	2009/07
NV7000	2009/08
NZL6000/2000	2009/08
NT1000	2009/09



NT1000 受注開始



NMV3000DCG 受注開始



NH6300
受注実績128台



NT6600 受注実績30台



NVL1350 受注開始

【連結】	()内は対前年同期増減率(%)					
	2008年度 第2四半期		2009年度 第2四半期		2009年度(予想)	
						(百万円)
売上高	93,704	(23.5)	31,090	(-66.8)	65,000	(-58.6)
国内売上高	32,345	(-11.9)	8,375	(-76.3)	18,000	(-67.3)
海外売上高	61,359	(19.7)	22,715	(-62.9)	47,000	(-53.9)
米州	19,301	(-4.9)	8,644	(-55.2)	16,500	(-52.4)
欧州	30,195	(8.9)	10,103	(-66.5)	18,500	(-60.0)
アジア	11,862	(-2.3)	3,968	(-66.5)	12,000	(-42.6)
営業利益	9,881	(40.1)	(14,656)	-	(28,000)	-
経常利益	8,759	(29.6)	(14,885)	-	(28,000)	-
当期純利益	4,478	(57.7)	(15,744)	-	(28,700)	-
為替レート						
1USドル =	106.3円		95.5円		92.8円	
1ユーロ =	162.1円		133.1円		131.6円	
設備投資	4,991		4,053		8,000	
減価償却実施額	3,290		3,537		7,100	
研究開発費	2,836		2,865		5,800	



Thank you